



一般社団法人
トラック・マネジメント協会
Truck Management Association

トラマネNEWS

トラック・マネジメント協会がお届けする、運送事業者さまの
ためのお役立ちマガジン

2018年
3月号
VOL.001

今月号の目次

- ・前会議(2018.2.20)を振り返って
- ・今月のMVP
- ・理事長和田の一问一答
- ・次回日程・場所・テーマ

前会議を振り返って

運輸安全マネジメントの内部チェックリストを使用して、各会員さんの現在の取り組み状況を発表して頂きました。

協和陸運の柘田社長さんが毎年1回、ドライバーと直接面談をしていることが大変印象に残りました。

柘田社長さんの人柄もあってか、ドライバーさんも割といろんな話をしてくれるようです。社長が直接ドライバーとコミュニケーションできるのが中小運送会社の強みの1つです。

運輸安全マネジメントにも「代表者は、社員と直接話す機会を作り、安全に関する指示・指導をしたり、従業員から意見・要望を聴いたりしているか」という規定があります。

なお、今後の課題は安全目標や安全計画を社長が考案しているのを管理者に少しずつ移譲していきたい、とのこと。

中小運送会社の悩みの1つ、それが管理者が育たないことです。

運輸安全マネジメントを活用するのはとてもよい発想です。

トラマネ会議かトラマネ監査で管理者の方に発表する仕組みにして、管理者自身がやらなければならない環境を作りたいと思います。

管理者の育成は、とすると「彼らの能力ではこれが限界だから、これ以上何をしても成長しない」、そう諦めがち。

平昌オリンピックの日本カーリング女子の奮闘を見て、「自分自身をもう一度信じてみよう!」と励まされました。

もう1社、素晴らしい取り組みをされている会員さんがいました。先月ご入会されたばかりのタカラ梱包輸送さんです。

何が素晴らしいって、P D C Aサイクルが見事に機能しています。

半期で見直しをして、優先順位の高い取組項目が発生した場合に柔軟に計画変更をしている点が秀逸!

期の途中で安全計画の内容を変更している中小運送会社なんて皆無かと思っていたのですが、どっこいココにありです。あっぱれ!

1年以内には、第一当事者となる事故を起こし、行政処分を受けた運送会社に対して「運輸安全マネジメント評価」が行われるようになります。

トラマネ協会では運輸安全マネジメントの内部監査も定期的実施していこうと考えております。

今回は、ドライバーの健康管理。中でも「脳疾患リスクドライバー」をあぶり出す方法について話し合いをしたいと考えております。

まずは自社の隠れた健康リスクドライバーを把握するためにどのような取り組みが有効かについても意見交換したいと思います。

みなさんの発表を心より楽しみにしております!



理事長和田の一问一答

問：なぜトラマネ協会が毎年ドライバーのユニフォームコンテスト(ドラコレ)を開催しているのか?

答：外見を気にしない会社は運送会社であろうと生き残れなくなるからです。

中身は当然大事!でも中身の良さが外見(見た目)で伝わらなければ経営者としては失格です。

このトラックに乗りたい、このユニフォームを着たい、この社長の言うことなら信じたい!

外見に投資するのは経営戦略ですね。



今月のMVP

有限会社ヤマコン 山田さま



2月27日に名古屋モード学園さまで「第3回ドライバーコレクション(通称ドラコレ)」に発表会がありました。デザインの力を活かすことができるかどうか。これからの山田社長から目が離せません!!

一般社団法人トラック・マネジメント協会

「運送業を経営してよかった」会員全員が、こう心底思えるようになること。これがわたしたちの使命です。

TEL : 052-253-8797

MAIL : info@toramane.or.jp

URL <http://toramane.or.jp/>
または「トラマネ」で検索



次回トラマネ会議

2018年3月20日

場所：名古屋市中村区名駅3丁目22番4号
名駅前みどりビル7階
テーマ：ドライバー健康リスク評価の発表

※内容は変更となる場合がございます。

トラマネ会議は無料見学も受け付けております。

トラック・マネジメント協会の活動のひとつ、トラマネ会議は、ご入会をご検討中の方に向けて見学も随時受け付けております。実際の雰囲気を感じていただいたり、会員さんへの質疑応答も可能です。見学お申込み、その他ご質問などございましたら、お電話(052-253-8797)もしくはメール(info@toramane.or.jp)にて、お気軽にご相談くださいませ。

